

うしお

共同募金受配施設

社会福祉法人 竜雲学園
うしお編集室 (087)889-0724

再 第 91 号



竜雲学園 理事長
田代 健

今年の春に思うこと

「うしお」前号(再第90号)は、細井俊明名誉理事長追悼特集でした。平成三十年三月三日には、名誉理事長の一周忌法要が行われました。改めて、名誉理事長の人懐こい笑顔を思い出しています。

おいて、竜雲学園が多くの職員によって支えられていることに、心から感謝するとともに、理事長としての責任の重大さを感じた次第です。

さて、大災害等について、「風化させてはならない」と強調する人がいます。大地震、火山爆発、戦争等、多くの人が亡くなったり、傷害を負ったりします。それらの人やその家族の驚愕、恐怖、苦痛、悲嘆等は想像の域を超えます。その人たちにとっての救いは、忘れることし

本日、四月二日、竜雲学園の辞令交付式を行いました。四月の陽光の中、新規採用の八人を含め、新たな職場・職務に就く職員の緊張した表情を見ると、私まで新鮮で緊張した気持ちになりました。同時に、現在の厳しい労働者市場の中に

「風化させてはならない」と強調する人がいます。大地震、火山爆発、戦争等、多くの人が亡くなったり、傷害を負ったりします。それらの人やその家族の驚愕、恐怖、苦痛、悲嘆等は想像の域を超えます。その人たちにとっての救いは、忘れることし

ともかく、大災害にしろ、戦乱にしろ、「風化」することは避けられませんが、その証拠に、「関東大震災」も「太平洋戦争」も、何か特別の機会でもない限り、話題にのぼることはま

「風化させてはならない」と強調する人がいます。大地震、火山爆発、戦争等、多くの人が亡くなったり、傷害を負ったりします。それらの人やその家族の驚愕、恐怖、苦痛、悲嘆等は想像の域を超えます。その人たちにとっての救いは、忘れることし

今年も、わらびの季節がやってきました。少年農場の牛たちがわらびを食べて食中毒を起こすことがないように祈っています。



助成報告

■平成29年度(第67回) NHK歳末たすけあい寄付金助成事業

施設名 ● 障害者支援施設 竜雲あけぼの学園
事業内容 ● 女性娯楽室用のテレビ1台の購入
事業費 ● 108,000円
助成金額 ● 100,000円
事業完了日 ● 平成30年3月19日
助成先 ● 香川県共同募金会



■平成29年度 地域歳末たすけあい特別助成事業

施設名 ● 就労支援事業所 竜雲かしのき園
事業内容 ● 食堂用の机2台の購入
事業費 ● 92,664円
助成金額 ● 92,664円
事業完了日 ● 平成30年3月19日
助成先 ● 高松市共同募金委員会



平成29年度

寄付報告

ご寄付ありがとうございました。

(H29年10月1日～平成30年3月31日分)

- うしお会竜雲少年農場部会 様
- 社会福祉法人 香川県共同募金会 様
- 浄土宗南海教区教務所 様
- 後藤設備工業株式会社 様
- 赤松 正行 様
- 家村 栄一 様
- 白井喜美恵 様
- 西尾 昭一 様
- 藤川タマエ 様
- 溝淵 博 様

法人採用説明会について

下記の日程で法人採用説明会を開催します。

対象者 香川県で福祉の仕事に就こうとお考えの方
平成30年度竜雲学園職員採用試験(平成31年4月採用)の受験をお考えの方

日程 第1回 平成30年5月25日(金) 済
第2回 平成30年7月13日(金)
第3回 平成30年8月3日(金)

内容 法人の事業内容について、竜雲学園での仕事について など
※ご参加いただける際には、事前のお申し込みをお願いします。

【お問い合わせ・お申込み先】 法人事務局 電話 087-889-0724



昨年度の法人採用説明会の様子

編集後記

竜雲少年農場
サービス管理者 F

新年度がはじまり早や一ヶ月がたちました。桜の花から新緑の爽やかな季節へと移りました。

四月に新規採用となった職員たちも少しずつ新しい環境に慣れ、それぞれ自分自身の個性が出始めたところでしよう。新しい環境や新たに人と出会うことで自分では気づいていなかった自分に出会ってしまったという経験はないでしょうか。私は就職して様々な経験をさせていただけでなく、自分の中にこんなにも自身では知らなかった自分があったのかと何度も感じさせられました。今年度もさまざまな人に出会い磨かれながら、また新しい自分に出会えれば……と思います。

高松市内町にあった高松北警察署の建物を取り壊すときにも、残せという議論がありました。すったもんだの末に、建物のごく一部が弁護士会館の東に残されていますが、何の役に立っているのか、よく分かりません。

私は「断捨離」という考えの方が好きですが、建造物が老朽化したり、耐震性に問題があれば、取り壊せばいいと思っていますが、どうも社会的には少数派のようです。皆さんの意見はいかがですか。

福祉看護の魅力



看護師
井原 仁美

看護師の役割は、病気やけがをした人や妊産婦の療養上の世話をしたり、医師が行う診療の補助を行うことです。医療機関であれば、病気を治す目的の患者様を中心に医師や他の専門職が連携し、その中で患者様に身近な存在として主に療養生活の援助を行うことが看護師の役割となります。

められます。重病患者が急患で運ばれてきたり、難病患者の難しい看護を任されるといった状況はありませんが、問診や、血圧測定などのフィジカルアセスメントから利用者様一人一人の健康状態を把握することが主な役割です。

「福祉」とは「しあわせ」「ゆたかさ」という意味を表し、「看護」は手と目で守ることを意味する言葉です。福祉看護には、利用者様のしあわせのために手と目で守る、という重要な役割があることを常に忘

れることなく、気を引きしめて業務にあたっています。

福祉施設に看護師が一人というプレッシャーはありますが、困ったとき、悩んだとき、周りにはたくさん

高年齢者は、転倒しやすく転倒により骨折してしまうと、短期間で寝たきりになってしまうことが多いのが現状です。そこで、転倒からの寝たきりを防ぎ、いつまでも元気に過ごしていただくための新たな取り組みとして、今年3月から60歳以上の方を対象に下肢筋力の強化運動を行っています。利用者様一人一人の健康状態や関節可動域などを考慮し、筋肉貯金と題して簡単なストレッチとスクワットを毎日継続して実施しています。これ

今後も、利用者様の健康を守るため医学的根拠に則った活動を考えていきたいと思っています。そして、利用者様一人一人の暮らしに寄り添い、かけがえのない人生が笑顔であふれるように看護を行ってまいります。



固まりやすい膝関節の曲げ伸ばし

少しずつ足が高くあがってきました。

ストレッチでリラックス



机に手をついて片脚立ち。集中して取り組まれています。



転ばないように、机に手をついてスクワット。



冬去春来



副主任 職業指導員
住吉 雄弥

かしのき園の作業では、園芸や公園清掃を通して四季を感じられることが魅力の一つだと思います。今回は、今年に入り春の訪れを感じた時のことについてご紹介します。

かしのき園では、年4回その季節ごとに育てたお花を寄せ植え等にし、注文を頂いた方へお届けする「愛と花いっぱいキャンペーン」を香川県社会就労センター協議会からの依頼を受け、取り組んでいます。平成29年度では146件の受注がありました。この年度の新し

い試みとして正月用の室内飾りに、あけぼの学園の切り花を取り入れました。室内飾りは、鉢などを大きくしてしまいう、また、どのように正月らしさを出せばいいかが課題でしたが、切り花を取り入れることで、コンパクトながらも華やかや正月らしさをだすことが出来ました。竜雲学園の施設間の連携を活かした飾りができたように思います。

そして2月に入り、まだまだ寒い日が続いていますが、4回目のキャンペーン中、4回目のキャン

の準備に取り掛かり始めました。4回目は花カゴに苗をセットする形になります。利用者様とセットする苗を取っていく所から始まり、苗を二つひとつ手入れする方、花ピックを作る方、苗の種類ごとに分けていく方、カゴに苗をセットしていく方とそれぞれ利用者様の得意な分野に分かれて、作業を進めていきます。始めの苗を取っていく時点では花が咲いてなかった苗たちも、出荷をする前には色とりどりの花を咲かせていました。寒い日が続いた中でも、少しずつ暖かくなり、春が来ているんだなあと利用者様と一緒に感じられた瞬間でした。



花ピック作成中！

を試行錯誤しながら、お花をもらった方がキレイだと喜んでもらえるよう努めていきたいと思っています。



苗をきれいに掃除しています。



花カゴ完成！！



正月飾り

休日登園日

生活支援員
空澤 隆弘

ぼだいじゅ生活介護では毎月1〜2回程度、土曜日に休日登園日を設けています。今回は休日登園日について紹介したいと思います。

休日登園日の活動は、季節に合わせた余暇活動を主体としています。29年度の活動は、春にペーパーフラワーの手作りカーネーションを母の日のプレゼントとして作成しました。

夏には夏祭りを行い、本格的な流しそうめんを

行っています。竹から流れてくるそうめん、夏の暑い日に二時の涼しさを感じていただけたと思います。

秋は芋煮会を行いました。芋煮の材料の下ごしらえを利用者様、保護者様にもお手伝いいただき、とても美味しい芋煮が完成しました。芋煮会を行う十月は秋も深まって肌寒くなってきた事もあり、温かい芋煮ではあったが、温かい気持ちになった日でした。

冬には正月遊びを行っています。福笑いやかるた遊びなど、正月ならではの遊びに利用者様とても満

足された表情をされ、充実した日となりました。

また、休日登園日には普段の登園時とは違う雰囲気を楽しんでいただくため、普段の昼食は給食ですが、休日登園日にはお弁当を召し上がっていただき、降園前にはコーヒーパーティーで淹れた本格的なコーヒートを召し上が

ていただいています。

上記のご紹介は、ごく一部です。他にも人形劇鑑賞やさつまいも掘り、クリスマス会、新緑や季節の花がある公園めぐり等、様々な事を行ってきました。

これからも皆様に喜んでいただけるような、休日活動を行っていききたいと思います。

主任サービス管理者
福家 照美

地域貢献つてなんだろう

近年、社会福祉法人による社会貢献活動が注目されていますが、竜雲少年農場では、小学生を対象に「夏休みワークショップ」を開催しています。牧山ウオーク、ジャージー牛の乳しぼり体験、アイスバター作りで自然の恵みを体いっぱい体感する取り組みを行い、毎回好評をいただいています。また、中学生の福祉体験学習の受け入れ



竜雲少年農場が開設して以来、利用者様と一緒に培われてきた牧場は、訪れる誰からも「香川県にこんなところがあったんだ！」と感嘆の声が聞かれます。少年農場ならではの特色が社会資源の一部として活用され、ささやかではありますが社会貢献に寄与で



はじまりのあいさつ



搾乳体験

きているのではないかと考えます。これからは小学生や中学生といった若い人達が訪れる場となる取り組みを行うことで、未来を担っていく少年や少女が福祉の存在を身近に感じ、興味をもつていただけるきっかけや、福祉のサポーターづくりの場となれば幸いと思います。

主任生活相談員
田村 博美

在宅生活を支える為に

●竜雲舜虹苑

最近テレビを見ていると、毎日のように「認知症」という言葉を耳にします。認知症予防の番組も多く、認知症にならないよう運動や脳トレーニングなど様々な予防法が紹介されています。しかし、認知症の患者数は年々増加し、七年後には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症患者になると見込まれています。

認知症を発症しても、多くの方が住み慣れた自宅での生活を望まれています。そのような方のお手伝いをさせて頂いているのが竜雲舜虹苑の地域密着

型認知症対応型デイサービスです。少人数のデイサービスで、入浴やリハビリ、利用者様の心身の状態に合わせた個別レクリエーションを提供しています。

春に野菜の苗を植え、夏になると実った野菜を収穫し、子どもたちの交流会で即席漬けにして皆で頂きます。このように季節を感じて頂くとともに喜びを感じていただけるレクリエーションや、昔の事柄を思い出す回想法や指先を使ったゲーム、毎回「おいしい!」と皆さんが喜ばれる昼食作りなど、様々な活動を行っています。認知症

の進行を抑制し、穏やかな日々を送って頂けるようサービスを行っています。認知症の方と向き合うご家族様には、ストレスを感じられている方が少なくありません。利用者様やご家族様、地域の方をお招きして行う年2回の運営推進会議でも、ご家族様からの様々なご意見を頂きました。そこで、ご家族様のサポートをするにも、デイサービスを利用しながら生活に楽しみを持ち、自宅での生活が継続できるお手伝いができればと、平成30年4月より認知症対応型デイサービスは日曜日の営業を開始し、提供時間を9時30分〜17時(1時間半延長)としました。

日曜日に利用して頂くことで、利用者様は生活パターンが作りやすくなり、ご家族様も緊急時には利用を追加して頂くことができ、安心した在宅生活をサポートすることができ

毎年行う子ども達との交流会
昼食を作り、皆で一緒に頂きます。キュウリの収穫
収穫してすぐに浅漬にします

長い間お疲れさまでした



宮崎 里美さん

ある朝出勤すると、70歳代の男性利用者様が私の顔を見ると、「ニコッとされ居室へと戻って行かれました。あれっ、どうしたのか」と思っていると、「宮崎さん、春から家に籠るんやろ。これ、あげるわ。」と差し出されたのは、袋菓子。定年退職を、家に籠る…とイメージされたことに対して、こちらにも思わずにつこり。その日は、一日をほつこりとした気分、で、過ごすことができました。

46歳で再就職の機会が得られてから、利用者が

様との出会い、素敵な同僚に恵まれ仕事を続けることができました。竜雲学園で培った経験や知識、人間関係は宝物です。

春が来た。家に籠って、ちよつと息、一息。ただ今、充電中です。



細井 俊昭さん

昭和56年、私が指導員として、初就職した知的障害児入所施設『竜雲学園』に於いて、故細井俊明竜雲学園名誉理事から掛けられた言葉。【仕事は、のんびり、ゆつたりとするもんや。



川田 俊子さん

私は、平成7年に竜

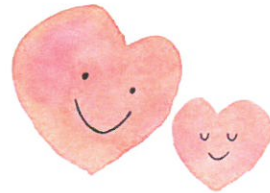
職員が忙しそうに動いたりドタバタしたら、子供(利用者様)は、戸惑ったり不安になるしな。ボチボチとしいや。】私にとって、この言葉は職場だけでなく、家庭での子育てや日常生活においても活かされ続けた。そして、定年退職後のこれからの人生においても……自身を成長させてくれた竜雲学園での37年間の御縁に感謝感銘！

恭敬合掌

雲学園に就職し、舜虹苑で23年間看護師として仕事をさせて頂きました。利用者様を職員の皆さんと協力しながら支援する中で思い出深いのは、以前行っていた竜雲学園の合同運動会や舜虹苑の一泊旅行です。この旅行では、利用者様と手を繋いで一夜を過ごすと言う貴重な体験をさせて頂きました。

仕事を通じ、勇気や元気をもらいながら、舜虹苑の歴史と共に今日までこれたことを感謝しています。退職することとは寂しいですが、これからは陰ながら舜虹苑の発展を心からお祈りしています。

今まで本当に有難うございました。



竜雲少年農場生活支援員 稲沢 貴則

利用者様や職員の皆さんが安心できる存在になれるように、二日二日を大切に、積極的にたくさんの方と関わって信頼関係を築いていきたいと思っています。また、前職「保育士」という専門職を竜雲学園での支援活動の中で活かし、利用者様の笑顔がたくさん見られるような日々を送



平成30年度 新規採用 職員の抱負



竜雲舜虹苑看護師 井原 章博

私は看護師としての知識や経験が浅く、すぐには利用者様の皆さんをサポートすることができないと思いますが、法人理念である「生活を共感し、共に生きてゆく」という理念のもと利用者様と同じ目線に立つて個性を尊重し、利用者様の皆さんが自分らしく生きていけるよう支援を行います。



竜雲あけぼの学園生活支援員 大塚 滉一

私の目標は、自身の言葉や行動に重みや説得力のある職員になるということです。そのために、一日一日を大切に、毎日の業務のなかでしっかりと目標を持ちます。私がしなくてはいけないことに一生懸命取り組み、先輩方からしっかりと学んでいきたいと思っています。よろしくお願ひします。



竜雲少年農場生活支援員 高島 未奈

利用者様に寄り添った関わりを目指します。そのために、利用者様一人ひとりの性格を知り理解することに努めます。常にその心を忘れずに、優しさを持った支援員になりたいです。大学での4年間は保育について学びましたが、この経験を今後に活かし、日々の先輩職員との関わり方をよく見て自らも実践していきたい



竜雲少年農場生活支援員 細井 紘平

たいと思います。よろしくお願ひします。

このたび、竜雲学園の一員になりました。不安な気持ちと期待が入り混じっています。竜雲学園の基本理念である「生活を共感し、共に生きてゆく」ということを実現できるように利用者様との生活を大切にします。一日でも早く竜雲学園と利用者様の必要な存在となれるように日々努力して参ります。

ご指導をよろしくお願ひします。



竜雲舜虹苑介護職員 三崎 愛理

利用者様や職員の方々と信頼関係を築くために、自分の発言や行動に責任を持ち、困ったことや分からないことは積極的に質問し早く仕事を覚えたいです。

利用者様とコミュニケーションをよく図り、思いを理解し寄り添った介護を目指します。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導をよろしくお願ひします。



竜雲少年農場看護師 溝渕 由美

ができたことを嬉しく



感じる傍ら、以前勤務していた時代から二気が高齢化した施設へと変貌した現状を実感し、複雑な思いです。しかし、日々の過ごし方や関わり方しだいで元気にそして生きる力を持つことができると思っています。私が担う看護の分野で、何をすべきかを常に考え、利用者様と向き合い、関わっていきます。小さな進歩であっても大きな喜びです。オーバーリアクションで共感し合いたいと思っています。これからもご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひいたします。



竜雲舜虹苑 三宅 啓太郎

介護支援専門員



竜雲舜虹苑 小西 里奈

介護福祉士



竜雲あけぼの学園 井原 仁美

社会福祉士

合格 おめでとう ございます

資格取得者 紹介

平成30年度